

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

事業種別	継続	補助	事業類型	Ⅲ	整備事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	------	---------

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	540 国史跡旧崇廣堂保存整備事業	会計	01	一般会計
基本	36 歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	款	10	教育費
策		項	05	社会教育費
目	2 指定文化財の修理・保存管理	目	02	文化財保護費
細目		104	文化座保存整備事業	
細々目		04	国史跡旧崇廣堂保存整備事業	
基本計画該当頁		143		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード 450400 名称 生涯学習課	評価者氏名	前田明伸	連絡先 22 - 9679 (内線) 3830

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
修理工事進捗率	当初計画どおりに修理できたかどうか。	%	目標	25	目標	50
			実績	25	実績	50
			目標		目標	
			実績		実績	

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	国指定史跡旧崇廣堂の中土塀を壊れた状態にしておく危険である。保存修理工事を行なうことによって、市民の憩いの場、生涯学習の場として活用することができる。国指定文化財として中土塀が造られた技術を遺す必要がある。
有効性	4	保存修理工事によって文化財を後世へ伝えることができる。
達成度	4	計画どおり平成19年度工事を終了させることができた。
効率性	4	国と県の補助を受けることができるので、一般財源の割合は低くなっている。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	文化庁・県・指導委員会の出席する会議を開催して、中土塀の水周り環境を改善する方法を検討した。20・21年度の工事によって、中土塀を長く保存することができる。

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
旧崇廣堂 (※対象件数 )	保存修理を行なう。そのことによって、今後も長い期間にわたって、旧崇廣堂において、市民は憩いの場や生涯学習の場として利用することができる。
根拠法令・要綱等	文化財保護法
開始年度	平成 18 年度
終了年度	平成 21 年度
事業内容	中土塀の躯体である日干レンガの積み上げ工事を行なった。 状況変化等 明治30年に御成門と有恒寮の移築に伴い、以前あった中土塀にかわって、少し西へ新たに中土塀が建設されている。しかし、近年漆喰壁にひびが入り、躯体と土壁が肌別れして、訪れる市民や観光客に危険な状況になってきた。壁土をはずして状況を調べたところ、躯体の日干レンガが湿気のためにぼろぼろになっているのが確認された。

整備内容

1 建設用地	上野丸之内
2 建設面積(延床面積)	150㎡
3 規模・構造	瓦葺、日干レンガ積み上げ、漆喰壁
4 総事業費	17,800 千円

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

進捗状況	年度	平成18年度 決算内容				平成19年度 決算内容				平成20年度 計画内容				平成21年度 計画内容				平成22年度 計画内容				平成23年度 計画内容								
		18	19	20	21	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額					
委託	⇔					工事請負費			(千円) 4,721	工事請負費			(千円) 3,796	工事請負費			(千円) 3,618	修理工事			(千円) 2,900									
						委託料			1,365	委託料			423	委託料			425													
工事	⇔					その他			114	その他			281	その他			157													
						事業費計(A)	Σ		6,200	事業費計(A)	Σ		4,500	事業費計(A)	Σ		4,200	事業費計(A)	Σ		2,900	事業費計(A)	Σ		0	事業費計(A)	Σ		0	
進捗率 (%)		25	50	75	100																									
事業投入人員		人件費(B)		0.2	人	1,440	人件費(B)		0.2	人	1,440	人件費(B)		0.2	人	1,440	人件費(B)		0.2	人	1,440	人件費(B)			人	0	人件費(B)		人	0
フルコスト (A)+(B)						7,640		5,940		5,640		4,340		0		0		0		0		0		0		0				

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	6,200	4,500	4,200	2,900	0	0
国庫支出金	3,100	2,250	2,100	1,450		
県支出金	620	450	420	290		
地方債						
受益者負担						
その他						
一般財源	2,480	1,800	1,680	1,160	0	0
計	6,200	4,500	4,200	2,900	0	0
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	国宝重要文化財等保存整備費補助金50%、県活かそう地域文化提案事業・指定文化財等保存事業10%	国宝重要文化財等保存整備費補助金50%、県活かそう地域文化提案事業・指定文化財等保存事業10%	国宝重要文化財等保存整備費補助金50%、県活かそう地域文化提案事業・指定文化財等保存事業10%	国宝重要文化財等保存整備費補助金50%、県活かそう地域文化提案事業・指定文化財等保存事業10%	